

# 日独マンガコンクール展の開催概要

主催：公益財団法人 日独協会

後援：OAG 公益財団法人オーアアゲー・ドイツ東洋文化研究協会

協力：ドイツ連邦共和国大使館 東京



日時：2014年1月23日 18:00～21:00

18:00 主催者挨拶、大使館挨拶、表彰式

18:30～20:00 「日独のマンガと食文化のトークイベント」

20:00～21:00 ドイツワインと軽食の懇親会（参加費無料、会員以外も歓迎）

場所：OAG ハウス1階（ドイツ文化会館）（東京都港区赤坂7-5-56）

申込み方法(1月20日締切)：<https://forms.gle/aacteH7eVdz8mMW59>



日独のマンガと食文化のトークイベント：

ドイツ\*食\*マンガ～日独のマンガと食の魅力を語ろう！

日本とドイツには、マンガと食に関する共通点や相違点が多くあります。マンガは、日本の現代社会を代表する表象文化の一つであり、ドイツ人にとってはよく日本文化と初めての出会いになります。一方、食は人々の暮らしや感性に影響を与えます。3名のドイツ専門家がマンガと食の魅力について語り合うトークイベントを開催します。

登壇頂く Alt さんには日独漫のマンガ・アニメ文化やその違いに言及し、柳原さんはドイツの食文化、特にベルリンの食に焦点を当てお話頂きます。モデレーターの西口さんには研究や研究者の生活の中の「ドイツ」を紹介のうえ、登壇者のレビュー、さらに議論を深めて頂きます。

## 先生方のプロフィール

### 西口拓子 (モデレーター)

早稲田大学理工学術院のドイツ語教員 (ドイツ文学)。著書『挿絵でよみとくグリム童話』(早稲田大学出版部)、『そのまま使える! ドイツ語会話表現集』(東洋書店)。日独スポーツ少年団交流、府中市ーウィーン市ヘルナルス区交流、日独テディーベア・プロジェクトなどに携わる。メルヘン街道、グリム童話の挿絵、日本でのグリム童話の受容についての講演など。

### 柳原伸洋

東京女子大学・歴史文化専攻教員 (ドイツ近現代史)。編著に『ドイツ文化事典』(丸善出版) や『教養のドイツ現代史』(ミネルヴァ書房) など。マンガ『東独にいた』(講談社) や『小説ヒトラー』(集英社) の歴史監修なども担当。筆名、伸井太一としては、日独協会のイベント「中二病で学ぶドイツ語」や「ドドンとドイツ!」に出演。著書に『笑え! ドイツ民主共和国』(教育評論社) や製品史の書籍『第二帝国ドイツ』(パブリブ) など。

### アルト・ヨアヒム (Joachim ALT)

国立歴史民俗博物館研究員 (特任助教)。共著に『Thinking with Animation』(Cambridge Scholars Publishing) や『〈戦い〉と〈トラウマ〉のアニメ表象史 --- 「アトム」から「まどか☆マギカ」以後へ』(日本評論社)。ドイツ生まれ、日本で学士~博士の学位取得。日本アニメーション学会、日本マンガ学会、表象文化論学会などでアニメ・マンガについての学術議論に関わる。

以上